

NETIS登録番号	技術名称	マルチフォームM側溝			
QS-110031-A	副題	側溝本体と縁石蓋の接合部に排水スリットを形成しクサビで固定した縁石一体型側溝			
分類1	共通工	排水構造物	側溝工	プレキャストU型側溝	
分類2	共通工	排水構造物	側溝工	自由勾配側溝	
開発目標	省力化、経済性の向上、作業環境の向上				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input type="checkbox"/> 有り(特許番号:) <input type="checkbox"/> なし				
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	エムシー産業株式会社		TEL	0954-26-9535
	住所	〒843-0001 佐賀県武雄市橋町大字片白字馬場9922-1		E-MAIL	aiura@mc-sangyo.com
	担当者	相浦 敬次郎			
実績件数 H25.9.25現在	国土交通省		その他の公共機関		民間等
	件		4件		件

技術概要:(300字以内)

①何について何をする技術なのか?

- ・側溝本体と縁石付き蓋がクサビによって簡単に固定できる。
- ・縁石付き蓋上面の水抜き孔と縁石付き合わせ部の隙間で排水できる。
- ・側溝本体と蓋のスリットと蓋底面の凹形状部から連通して排水ができるので排水性舗装等の施工に有利である。
- ・側溝本体は落蓋形式になっておりマルチフォーム専用型の側溝になっている。

②従来はどのような技術で対応していたのか?

- ・管(函)渠型側溝と別に歩車道境界ブロックを設置していた。

①どこに新規性があるのか?(従来技術と比較して何を改善したのか?)

- ・側溝本体と蓋の個別の製品を市販の樹脂製のクサビで簡単に一体化した。
- ・スリットを保持したまま固定した。
- ・縁石付蓋の両端部に全断面開口の隙間を設けた。
- ・縁石型の集水(管理)柵は縁石を型どった丸パイプ、グレーチング及び金網で構成した。
- ・側溝本体は落蓋形式になっておりマルチフォーム専用型の側溝になっている。

②期待される効果は?(新技術活用のメリットは?)

- ・簡単かつ正確に設置出来ると共に省人化が図れ、クサビは市販品の為安価である。
- ・両サイドにスリットが出来る為、排水機能が向上した。
- ・縁石突合せ部が開口となっており路面排水を効果的に排水出来る。
- ・縁石形状に沿った丸パイプとした為、排水と造形に優れる。

現場条件

- ・吊り上げバックハウ(クレーン機能付き)の作業半径5.0m程度。

①適用可能な範囲

※全ての製品は溝幅300,400の対応である。

MU側溝、溝幅×深さ(mm)

・300×310 ・400×430

MS側溝(自由勾配側溝)、(流量・勾配に対応) 溝幅×深さ(mm)

・300×(300~1100) ・400×(400~1200)

ML蓋(縁石付き蓋)歩車道境界ブロックA両丸面付き

・L=1.000 ・L=2.000

MT蓋(スチール透水蓋)

MP蓋(グレーチング、パイプ蓋)

・25t対応 受け枠共

・グレーチング、パイプ、ゴミ対応金網共

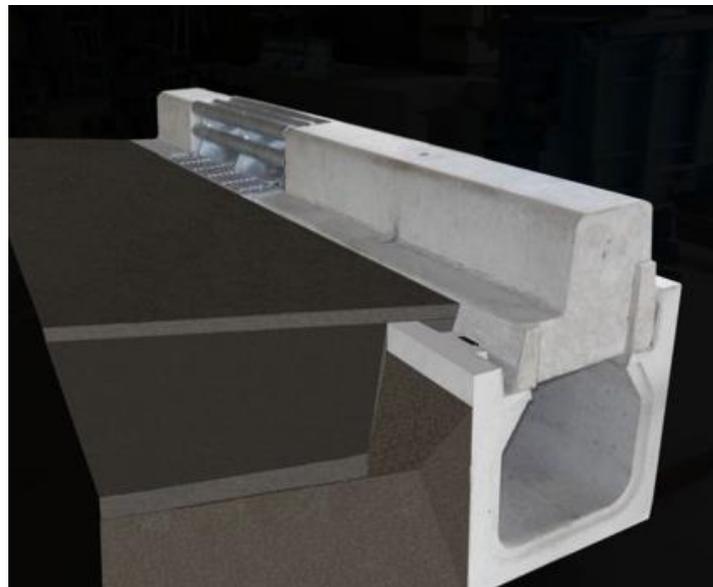
MC縁石柵

②特に効果の高い適用範囲

- ・管(函)渠型側溝と別に歩車道境界ブロックを施工する場合。
- ・特殊な縁石を使用して乗り入れ口等を築造する場合(スチール透水蓋を使用し、切り下げ・乗り入れ等の縁石が自由に設置出来る)

留意事項

- ・横断用、乗り入れ口等を設計の場合、スチール透水蓋を採用する。
- ・ローラーによる転圧は、蓋をクサビで固定後とする。
- ・グレーチング柵を設置する場合は、アンカーボルトで固定する。



MC縁石柵

